

## 2019 年度知的財産フォーラムご案内 「開発途上国における知的財産の最新事情」

経済のグローバル化が進展する中で、開発途上国にとり知的財産制度は海外投資誘致のみならず、自国の経済発展のために不可欠であり、世界情勢が変化する現在、多くの課題が残されています。知的財産制度の整備が海外直接投資促進にとり不可欠であることから、開発途上国にとり、効果的な制度設計及び運用が急務であると言えるでしょう。

そこで本セミナーでは、JICA(独立行政法人国際協力機構)の招聘で研修の為に来日中の開発途上国6ヶ国(カンボジア、インドネシア、エチオピア、ミャンマー、ケニア、パキスタン)の知財担当政府関係者を招き、各国の知的財産権の最新情報の実態等について報告をいただくとともに、専門家も交えて検討を行います。

ご関心をお持ちの多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 記

- **開催日時**：2019年 9月11日(水) 午前9時30分～午後5時(終了予定)
  
- **主催**：関西大学法学部  
独立行政法人 国際協力機構(JICA)  
株式会社商事法務 京都事務所  
**後援**：関西大学社会連携部 知財センター  
特定非営利活動法人 日本アフリカ・アジアパートナーシップフォーラム
  
- **場所**：関西大学千里山キャンパス 尚文館7F 特別会議室  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 TEL 06-6368-1121(大代表)  
URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>  
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html#senri>
  
- **開発途上国側専門家**：JICA 研修「直接投資を促すための知財制度整備に向けて」コース  
参加の知財専門家 6名(予定)
  
- **日本側専門家(予定)**：

山名 美加	関西大学法学部教授
扇谷 高男	発明推進協会アジア太平洋工業所有権センター長
取出 恭彦	東京国際大学国際戦略研究所教授
  
- **プログラム(予定)**：
  1. 開会の挨拶
  2. 開発途上国における知的財産制度について(予定)
    - 各国における知的財産の最新情報、知的財産エンフォースメントの実態、課題
  3. 途上国における生物資源・伝統的知識の付加価値化と経済発展—日本企業の事例
  4. 全体の質疑応答と討論
  5. 閉会の挨拶
  
- **使用言語**：英語と日本語(逐語通訳)
  
- **問合せ**：株式会社商事法務 京都事務所 TEL: 075-315-9924 / FAX: 075-315-9930  
京都市下京区中堂寺粟田町南町134番地 京都リサーチパークASTEM棟3階